

## 第58回 パートナー会 議事録

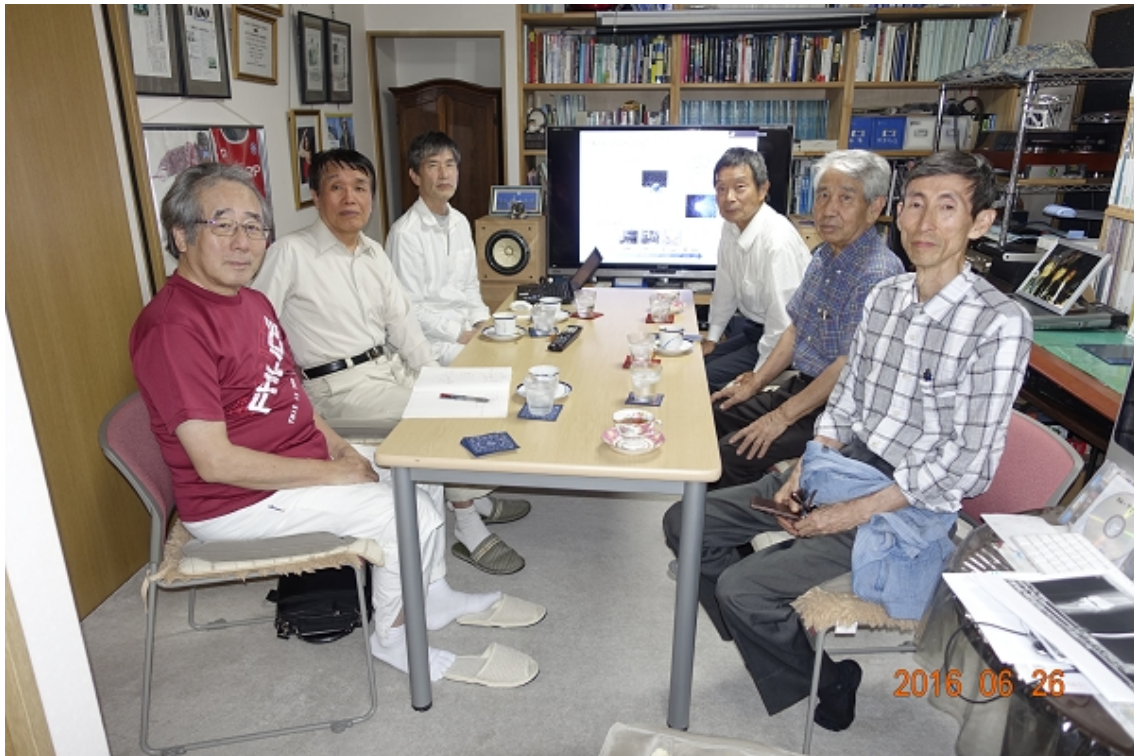
日時 2016年6月26日(日) 1時～5時

場所 CIS会議室

### 1) サロン 講師 西村 靖紀 様

課題 人工知能の話題

ネットで大きな話題として、IoT、Big Data が取り上げられている。  
また、3月～4月には人工知能のアルファ碁が韓国の碁の名人に4勝一敗で勝った。当  
節、ビッグデータなどいろいろ出てくる中で、人工知能に関連して Deep Learning とい  
うキーワードがでてくる。



会議風景

### 2) IoT, Big Data, 人工知能の話題

昨今のIT分野では、IoT、ビッグデータ、人工知能の話題がメディアを賑やかしているが、我々も、潮流に乗り遅れないよう、これら三つの事項についてその概要を調べた。

IoT：実社会のあらゆる事業・情報がデータ化・ネットワークを通じてやりとり可能になる。

ビッグデータ：集まった大量のデータを分析し、新たな価値を生む形で利用可能になる。

人工知能：ディープラーニング等により人工知能技術が非連続的に発展し、機械が自ら学

習し、人間を超える高度な判断が可能になる。

等、IoT、ビックデータ、人工知能の初歩的な理解を得た。

一方この3.4月には人工知能の「アルファ碁」が有名なプロ棋士に4勝1敗で勝利したことが大きな話題となった。この勝因は、「アルファ碁」がデープラーニングによって囲碁を徹底的に学習したとと報じられている。ここでも「デープラーニング」がキーワードとなっている。そこでデープラーニングについて理解するために「人工知能は人間を超えるか、デープラーニングの先にあるもの」(東京大学・松尾豊准教授)をYoutubeからEラーニングで学んだ。

人工知能の研究開発は、第一次AIブーム: 探索・推論の時代、第二次AIブーム: 知識の時代を経て、現在は、第三次AIブーム: 機械学習・表現学習の時代である。デープラーニングは機械学習の手法の一つであるが、従来の機械学習では、人間が特徴を定義していて、複雑な特徴を表現できないが、デープラーニングでは人工知能が学習データから特徴を抽出するため、大量のデータをもとに「表現」が自動的に獲得される。これにより、画像認識に始まって、環境認識、状況認識、推論、言語理解、知識の獲得、高次社会予測等に進展していく。人工知能の研究開発には、コンピュータ科学だけでなく言語学、哲学、脳科学等も必要である。

デープラーニングは我々素人には、いささか難解であったが、デープラーニングがどんなもので、人工知能が今後どのように進歩していくのかおおまかな理解が得られた人工知能がどんどん進化して、人工知能が自らを少しでも超える人工知能を生み出せるようになったときシンギュラリティ(技術的特異点)が出現するといわれているが、それよりも前に、人工知能が悪用されかねないことが気がかりである。



3) 次回

第59回パートナー会議

7月24日(日)

竹内 学様

4) 次々回

第60回パートナー会議

8月21日(日)

講師 中尾 元一 様

ホームページ URL

<http://www.cis-laboratories.co.jp/>

以上